

特集

第10回通常総代会



J Aは第10回通常総代会を5月24日、一関文化センターで開催しました。令和6年度は、第4次中期経営計画実践の2年度として、改めて協同組合の価値と存在意義を見つめ直し、J Aがこれまで果たしてきた地域農業、地域社会での機能と役割を再認識しながら、最重要施策「農家組合員の所得増大と農業生産の拡大」、「地域の活性化と結びつきの強化」、「組合員に評価される組合経営」を図ることを狙いとし、さらなる経営基盤強化に向けた取り組みの展開により計画の実現に努めます。また、新時代に対応しながら地域農業を次世代にしっかりと引き継いでいくために、食料の安定供給、地域農業・農村の保全維持、J A経営基盤の確立に取り組んでまいります。

農業・J Aを取り巻く環境は、加速する高齢化・人口減少による農業者の担い手不足、耕作放棄地の増加の他、米をはじめ価格下落などの影響が続いている状況に加え、燃料や肥料・飼料など農業資材の価格高騰で生産現場では大変な厳しさが続いています。

合併10年目となる令和5年度は、第4次中期経営計画の初年度で、重点施策の実現を目指し取り組んできました。また、一昨年の第8回通常総代会において決議いただいた営農経済事業改革の一環として「さらなる経営基盤強化に向けて」の取り組みにより、地域に貢献するJ Aを目指した施策の実践を通じて経営の健全化に向けた対応に努めてきました。



あいさつする佐藤組長

佐藤組長は総代会にあたり「ウクライナ情勢に円安が加わり、農業生産資材価格が高騰したことで農家組合員の経営に影響が出ており、特に飼料価格の高騰で畜産農家は大きな打撃を受けている。さらに、猛暑や遅霜の影響により主食用米や園芸作物の出荷数量が減少し、販売事業や利用事業に大きな影響をもたらした。また、低金利政策の影響を受け、支店と営農経済センターの再編を実施した」と振り返りました。

報告事項

「JAバンク基本方針」の変更

決議された議案

総代数530人、出席総代数480人（本人出席240人、委任状出席1人、議決権行使書面提出239人）

第1号議案 定款の一部変更

第2号議案 定款附属書総代選挙規程の一部変更

第3号議案 規約の一部変更

第4号議案 令和5年度事業報告及び剰余金処分案の承認

（報告）令和5年度貸借対照表、損益計算書、注記表及び附属明細書

第5号議案 令和6年度事業計画の設定

第6号議案 令和6年度経費の賦課及び徴収方法の決定

第7号議案 令和6年度理事に支払う報酬の額の決定

第8号議案 令和6年度監事に支払う報酬の額の決定

第9号議案 役員の選任

附帯決議

この通常総代会において決議した事項で、

行政庁の指示等により修正変更を必要とするときは、決議の趣旨に反しない範囲において、その取扱いを理事会に一任することの決議を求めます。

令和5年度事業の実績

剰余金処分の内容 (単位：円)	
1. 当期末処分剰余金	145,279,857
2. 任意積立金取崩額	1,651,648
(1) 固定資産圧縮積立金	1,651,648
計	146,931,505
3. 剰余金処分量	100,000,000
(1) 利益準備金	20,000,000
(2) 任意積立金	80,000,000
4. 次期繰越剰余金	46,931,505

資産の状況 (単位：千円)	
資産の部合計	169,960,233
負債の部合計	163,900,360
純資産の部合計	6,059,872

収支の状況 (単位：千円)	
事業総利益	2,158,520
事業管理費	2,176,865
事業損失	18,345
当期剰余金	52,195

※記載金額は、千円未満を切り捨てて表示していますので、合計金額はその内訳金額の合計と必ずしも一致するものではありません。

単体自己資本比率 12.54%
不良債権比率 1.62%

主な質問と意見要望

Q JAの販売は市場に頼り過ぎている。市場からは早く出荷してほしいと言われるが、リンゴは熟したものを出荷しなければならない。これからは、JAが直接取引したり、生産者が首都圏に行って販売したりしなければならない。JAも変わっていかねばならないのではないかな。

A JAとしても、独自販売について考えていかなければならないと考えています。一番はブランド化が必要です。今後どのように進めていくか、議論を重ねながら対応していきたいと考えています。



議長を務めた鈴木悦朗氏⑤と村上政一氏

Q JAは農家組合員の所得を向上するための組織。農政対策は、国や自治体が行っている技術を提供し、生産者の技術を向上させるよう営農指導をすることで産地の発展につながる。JAはこれができていない。生産量が上がらなければ、利用事業につながらない。

A 県と協力をしながら指導をしています。新しい技術の導入についても、関係機関から情報を集めながら進めています。農政の方針により、県と協

力しながら、生産量を上げる指導をしていきたいと思っています。



活発な意見が交わされました

ことで、再編をせざるを得ない状況になり、併せて営農経済センターの再編を行いました。今後は現状維持をしていきたいと考えています。

Q 支店・営農経済センターの再編で空き家になった建物について、人がいなければ傷みが早く、固定資産税など費用もかかる。不要になった建物は早急に解体するべき。先送りにしないですぐに対応してほしい。空き店舗についてどのように考えているのか。

A 遊休資産については、基本的には早く処分する方向です。解体するにも莫大な費用がかかるため、優先順位を付けて対応しています。

Q 合併後、支店や営農経済センターが次々となくなり不便でならない。なぜ、役立つJA施設をなくし、車で燃料を消費して中心部へと足を運ばなければならないのか。

A 再編により、組合員・利用者の皆さんにはご迷惑をお掛けしています。金融庁やJAバンクからの指導で、金融店舗としての採算性と一定の取扱量を求められています。低金利政策が金融店舗の収支を悪化させた

Q 農家は天候や自然が相手だ。私たちが汗を流し生産した米、牛、野菜その他販売するものは安く、生産に使用する肥料、飼料、農薬は年々高くなる。これでは農家の経営は良くなるわけがない。資材について安く供給し、農産物は高く販売するよう市場などと価格交渉してほしい。

A 肥料や農薬などは、大規模農家や法人には全農直送があります。価格も安くなるので利用してほしいと思います。

Q 賦課金を増額した根拠は何か。

A 合併して10年間同じ賦課金でした。県内のJ



多くの要望も出されました

Aでも最低基準の賦課基準であり、営農指導に係る費用については、他の部門から負担しています。物価の上昇や農家経営が厳しい中ではありますが、やむを得ない状況で賦課金を上げる決断をしました。

Q 金利が上がらないのに手数料だけが上がる。金融庁の指導によるものか。

A これまで低金利ではありましたが、金利は徐々に上がりつつあり、JAとしても貯金量の増加に力を入れていきます。これから金利が上がっていくことを期待して、皆さんの貯金利息も上がるよう努力していきたいと考えています。

主要要望



提出議案が全て可決されました

- ・JA職員は、資材を配達して終わりではなく、雑談をするなど組合員とコミュニケーションを取ってほしい。
- ・農家の経営が潤うような政策を行ってほしい。
- ・令和6年度の基本方針は抽象的で分かりにくい。具体的にどのようなことを実施し、目指していくのか、方向性を示していただければ、計画にならない。来年度は工夫してほしい。

令和6年度事業計画

令和6年度は、第4次中期経営計画実践の第2年度として、改めて協同組合の価値と存在意義を見つめ直し、JAの持てる組織力、結集力、総合力を発揮する中で、地域農業・農村の抱える課題解決を進めながら、地域農業の振興と暮らしやすい地域づくりに向け、事業に取り組んでいきます。

1 農業

～農家組合員の所得増大と農業生産の拡大～

消費者の信頼に応え、安全・安心な農畜産物を供給する持続し続けるいわて平泉農業の確立に向け、「黄金の郷づくり」を通じて担い手の育成と組合員の農業所得確保・増大に取り組めます。

2 くらし

～地域の活性化と結びつきの強化～

食と農を基軸に、総合事業を通じて地域の生活インフラの一翼を担い、地域に根ざした協同組合の確立とくらしの活動の展開で地域との結びつきの強化に取り組めます。

3 経営

～組合員に評価される組合経営～

自ら取り組むJA改革の推進と組合員・地域住民との結びつきを深め、財務基盤の強化と健全な経営基盤の確立で、信頼される協同組合としての存立に取り組めます。

組合員等被表彰者

(敬称略)

特別功労者

・退任部長

小岩 克宏

一関市舞川

・退任農家組合長

及川 昇一

一関市室根町津谷川

伊東 勇

一関市大東町鳥海

阿部 進

一関市萩荘

千葉 正佳

平泉町平泉

千葉 昌壽

平泉町平泉

菅原 博人

一関市赤荻

優良農家組合長 (退任農家組合長)

小山 勝幸

一関市大東町沖田

優良組織

農事組合法人

門崎ファーム

一関市川崎町門崎



就任のごあいさつ

代表理事組合長

佐藤 一則

組合員の皆さまには、平素よりJA事業に格別のご厚情を賜り心から感謝申し上げます。さて私は、5月24日に代表理事組合長に就任いたしました。よろしくお願いいたします。

農業、JAを取り巻く情勢はますます厳しさを増す中で、職責の重さを痛感しております。昔は「十年一昔」などと言われておりましたが、今はその何倍も速いスピードで世の中に大きな変化が生じています。そうした中でも組合員の皆さまや地域の皆さまの信頼と期待に応えるべく、誠実に全力で職務に当たろうと決意いたしましたところでございます。

皆さまご案内の通り、私どものJA管内は、四季折々、多彩な表情を表す自然に恵まれ、東部には独立峰の室根山がそびえ、西部には栗駒山（須川）などをはじめ山並みが連なっています。また北上川沿いの田園地帯は県内でも有数の米どころでもあります。農畜産物を育てていくということでは、他の産地にはない、潤いのある農空間の恵まれた環境であるということが私たち自身の誇りでもあります。私がお話するまでもなく、農業協同組合は組合員の営農と暮らしを守り、一人では解決できないことを相互扶助の理念のもと、みんなで解決することを目的とした民主的、自律的組織であります。社会的使命とJAの理念の達成のために、引き続き組合員の皆さまのご意見・ご要望を可能な限り事業運営に反映させながら、進めてまいります所存でございます。

結びに当たり、「組合員が主人公」となる事業運営、「何でも気軽に言える」事業運営、「地域にとってなくてはならないJA」と言われるよう、行政などとの十分な連携の下、取り組んでまいります。役職員一同、結束して事業を進めてまいります所存でございます。組合員、地域の皆さまのご支援、ご協力をお願い申し上げ、就任のごあいさついたします。



組合長退任のごあいさつ

佐藤 鉦一

私こと、今回の役員改選において、任期満了により、5月24日の総代会をもって代表理事組合長を退任いたしました。

平成26年3月、管内の2JAが合併し、JAいわて平泉が誕生して以来、合併時は常務理事として、その後、平成27年5月からは代表理事組合長として3期9年その任に当たらせていただきました。この間、組合員の皆さまはじめ関係者の皆さまには、格別なるご指導、ご支援を賜り、心から感謝申し上げます。

皆さまのご期待に沿いかねた点多々あったことと存じますが、厳しい経営環境の中、地域農業振興等による地域活性化・貢献というJAの使命がある程度、果たすことはできたものと思っております。

特に、合併当初の「黄金の郷づくり推進対策事業」は、地域農業振興と販売額増大に大きく貢献し、平成28年度には、販売額も過去最高の126億円まで伸びました。また、夏川地区カントリーエレベーターおよびJA米集出荷センター「輝」の建設工事に向けても、種々の課題の中、皆さまのご協力、ご尽力により完成した事も忘れることができません。

さらに、経営基盤強化に向けては、合併後支店再編を2回実施しましたが、現在、金融店舗は一定の事業量や採算性が求められる時代になっています。

農業、JAを巡る情勢は、高齢化による就農者（組合員）の減少や後継者不足、さらには、コロナ禍やウクライナ情勢等により激動の時代に入っております。今後JA経営においても、一層の自己改革や新たな事業展開等を求められておりますが、私の任期中同様、後任の組合長をはじめ、役職員一同に対しても変わらぬご指導、ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

最後に、組合員の皆さまはじめ関係者の皆さまのご健勝とJAいわて平泉のますますのご発展をご祈念申し上げ、退任のごあいさついたします。長い間大変ありがとうございました。

新役員一覧

総代会で役員が選任、その後開催された理事会ならびに監事会において新役員体制が決定しました。理事21人、監事5人が選任されました。任期は令和9年5月の総代会までとなります。

理事



代表理事専務
(管理・コンプラ・監査・営農・経済)
那須 元一
(東山町長坂)



代表理事組合長
佐藤 一則
(一関市萩荘)



総務金融共済担当
鈴木 勝
(大東町大原)



営農経済担当
阿部 幸文
(一関市滝沢)



営農経済担当委員長
千葉 秀樹
(平泉町平泉)



総務金融共済担当委員長
佐藤 秀行
(花泉町永井)



常務理事
(金融・共済)
高橋 敬之
(花泉町花泉)



営農経済担当
昆野 裕一
(藤沢町黄海)



営農経済担当副委員長
今野 典子
(川崎町薄衣)



総務金融共済担当
遠藤 勝幸
(川崎町門崎)



総務金融共済担当
瀧澤 真一
(平泉町長島)



営農経済担当
小山 智
(大東町沖田)



総務金融共済担当
畠山 信吾
(藤沢町藤沢)



総務金融共済担当
菅原 正太郎
(千厩町奥玉)



総務金融共済担当副委員長
藤原 美喜男
(室根町折壁)



総務金融共済担当
登嶋 英雄
(一関市巖美町)



営農経済担当
佐藤 圭一
(一関市舞川)



営農経済担当
加藤 悦子
(花泉町日形)



営農経済担当
千葉 順子
(大東町摺沢)



営農経済担当
佐藤 実
(千厩町小梨)



総務金融共済担当
千葉 広
(花泉町油島)



常勤監事・員外監事
佐々木 章
(盛岡市)



監事
菅原 憲行
(花泉町日形)



監事
小野寺 初雄
(一関市赤荻)



監事
須藤 敏典
(藤沢町黄海)



代表監事
小原 宏
(東山町長坂)

監事